

令和7年10月28日14時00分

近 畿 地 方 整 備 局

建設現場の課題を解決できる新たな技術の導入に向けて

～令和7年度の建設現場ニーズと技術シーズのマッチングが成立しました～

令和7年8月4日～9月5日に建設現場ニーズに応える技術シーズを募集し、9月24日にマッチングイベントを実施し、2件のマッチングが成立しました。今後は現場試行を順次実施していきます。

■近畿地方整備局では、建設現場の生産性向上を図る新技術の現場導入を目的に、建設現場の様々な課題である現場ニーズと民間企業等が開発した技術シーズのマッチングを令和元年度より行っています。今回のマッチング結果は以下のとおりです。

＜マッチングが成立した技術＞

1. 令和7年度現場ニーズと技術シーズのマッチング成立一覧表 資料1

2. マッチングが成立した技術 ※詳細については、資料2～3をご覧ください。

①水中サンドポンプ及び土砂分離装置による堆砂浚渫システム 資料2

②アンドロイド端末を用いた境界杭確認アプリ 資料3

■今後順次、現場試行を実施し、現場試行結果を公表いたします。

(参考)過去の現場試行結果について、以下の近畿地方整備局HPにて公表しています。

＜近畿地方整備局HP＞ <https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/i-construction/matching.html>

＜取扱い＞

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ

＜問合せ先＞

国土交通省 近畿地方整備局

TEL:06-6942-1141(代表) 06-6920-6023(直通) FAX:06-6942-4439

企画部 施工企画課 課長 菊池 弘 (きくち ひろし)

企画部 施工企画課 課長補佐 谷口 尚典 (たにぐち ひさのり)

令和7年度 現場ニーズと技術シーズのマッチング成立一覧表

■ マッチング成立技術一覧

番号	ニーズ	ニーズ提案事務所
②	ダム貯水池浚渫における礫混じりの土砂の効率的な除去・搬出技術	淀川ダム 統合管理事務所
⑨	IT技術等を活用した境界杭位置を現場で迅速に確認できる技術	福井 河川国道事務所

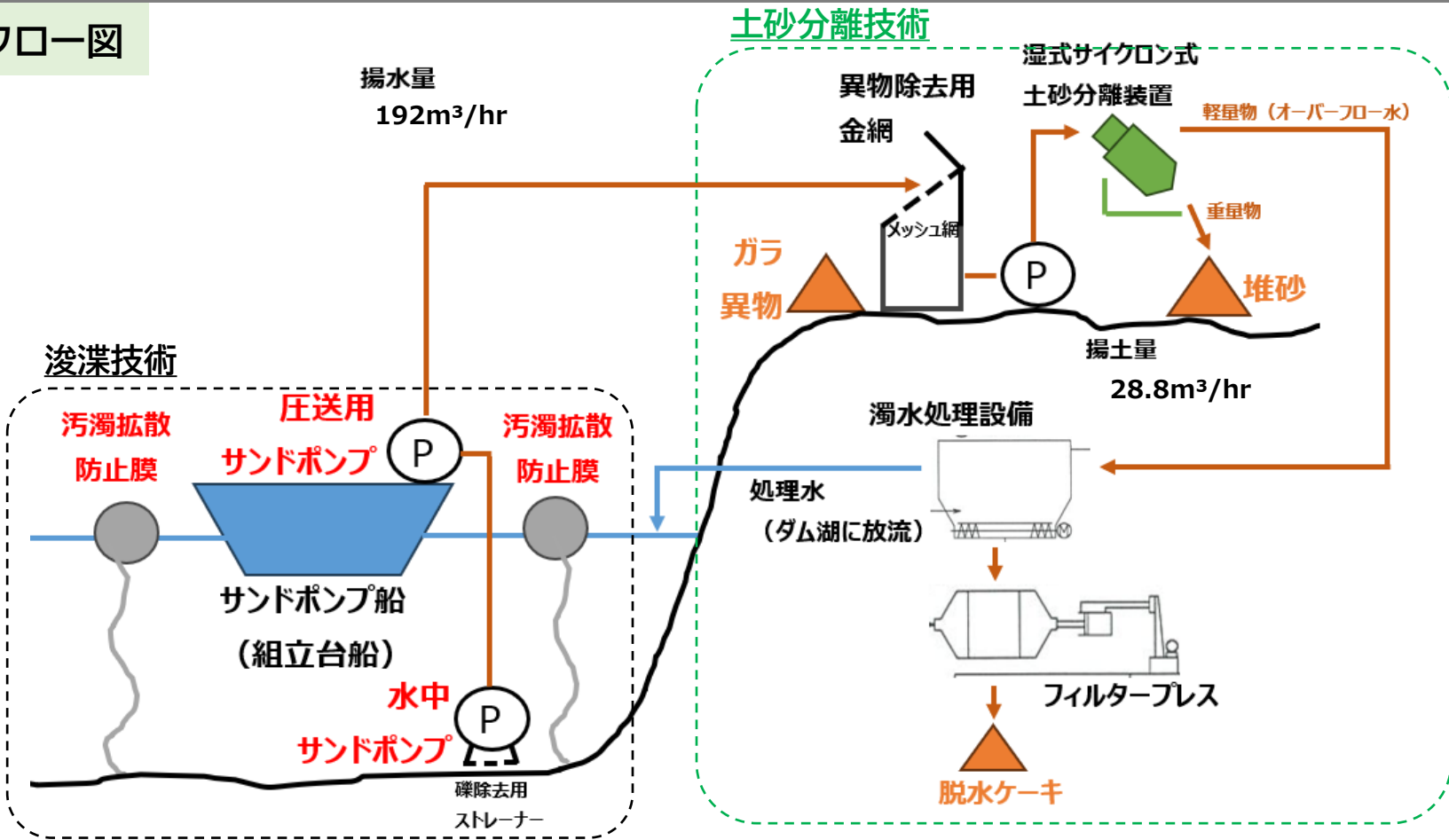


番号	シーズ	シーズ提案者
①	水中サンドポンプ及び土砂分離装置における堆砂浚渫システム	株式会社 栗本鐵工所
②	アンドロイド端末を用いた境界杭確認アプリ	有限会社 太田ジオリサーチ

■技術の概要

- ・港湾で多数実績のある**水中サンドポンプによる浚渫技術**と、採取したスラリー水から粘性土と砂を分離、その砂を適正な粒度分布になるよう分級する**土砂分離技術**を組み合わせた堆砂浚渫システム
- ・礫除去用ストレーナー付水中サンドポンプの効果によって、礫の影響を受けずに**連続的な浚渫作業が可能**であり、詰まりによるトラブルが減少し作業効率が向上
- ・浚渫土砂(堆砂)の粒度分布を調整する事によって**建設資材として再利用可能**(浚渫土砂の有効利用)

システムフロー図



Android端末を用いた境界杭確認アプリ [有限会社太田ジオリサーチ]

技術の概要

スマートフォンを使用し、境界杭を効率的に探し、杭の情報(写真や状態)を記録するAndroid端末用のアプリケーション。主な特徴として、①操作は直感的でサクサク動く、②通信環境がないエリアでも使用可、③端末位置の表示機能、④杭間距離の表示機能、⑤山間部でも分かりやすい地形図表示、⑥杭情報の登録機能、⑦サーバーとの同期による一元管理、複数端末での使用可(オプション)、など現場で効率的に杭を探す機能を搭載。

杭の番号

杭の状態

※杭の状態を以下より選択

状況 ☐ 健全 ☐ フレート無 ☐ 仮杭・鎖など ☐ 破損・埋没 ☐ 不明

日付 2025/05/14

特記事項を記入

※文言やマーク変更可能 (開発時に変更必要)

過年度に撮影した杭の写真を表示
・拡大表示可能
・写真の変更可能

境界杭
・未確認: 青色
・確認済: 黒色

※色により杭の確認状況 (進捗) を把握

背景地図に都市計画図を使用

端末位置

着色部 管理用地

※イメージ図

円のスケール

杭間距離表示

現在の杭

隣の杭をタップ

※イメージ図

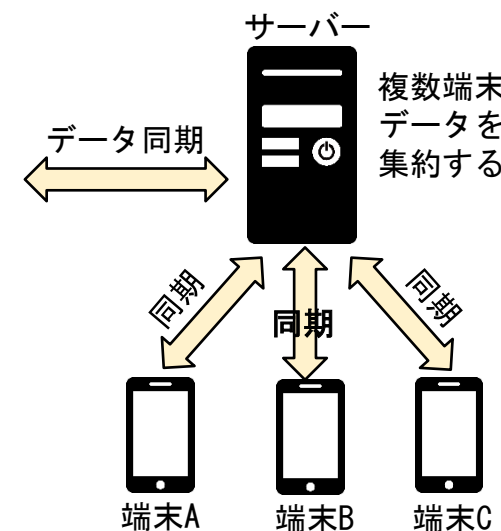
杭間距離の表示

測定したい位置に十字を移動

距離表示

距離にチェック

※イメージ図



アプリにて、現在地や背景地図、杭間距離、距離測定などの情報をもとに、杭を探す。杭を発見した場合、杭の状態、写真を撮影、登録し、サーバーに同期し、一元管理する(同期にはネットワーク接続が必要)。

<アプリ開発に必要な事項>

- ・杭の番号、座標
- ・背景の都市計画図
- ・管理用地のSHPファイル

* 端末位置は、GPS精度に依存するため数m~数10mの誤差があり。また、上空が開いていない場所、雲が厚い日は精度が低下する場合があります。